

第 1 部

「インカ道マチュピチュとナスカ地上絵 12 日間」を 5 月 12 日～5 月 23 日に行いました。

世界遺産の中で最も人気のあるマチュピチュ遺跡。ここへはインカ時代の道、インカ道 (CAMINO INKA) が通じています。この地でペルー文化省が許可するインカ道トレックコースはクスコからマチュピチュ村に至る鉄道距離から名前を取り「82 Kmコース」と「104Kmコース」があります。2 つのコースは日数、走破距離、最高到達地点、歩行難易度など大きく違い、簡単に言えば 82Kmコースはテント泊で 4200mの峠を越えて行く本格派コース。一方 104Kmコースは山中泊が無い1日完結のお手軽コース。勿論、天溪のツアーは 82Kmコースです。



(アルマス広場 5/13 日)

○インカ帝国の都クスコへ(3400m)

クスコはケチュア語で「へそ」を意味し、インカ帝国の首都だった所です。ここの必見は剃刀の刃も通らないと言われるくらい緻密に積まれた石積み。ところが造ったインカ人は文字を持っていません?? 高度順化の為にのんびりクスコの博物館などを見学し、これから始まるトレッキングに備えました。



○ワイリャバンバ(入山1日目 3000m)

ポーターと合流し、公園管理事務所で入山手続きを済ませ、サボテンが生える乾燥地帯から幕営地のワイリャバンバへ出発。入山早々気付いたのは昨年もそうでしたが今年も何故か緑が多く花も多い。一ヶ月乾季入りが遅れている様なみずみずしさ。所で下中央の写真、ガイドが説明している植物は竜舌蘭。要はこの植物から造られるお酒が有名な“テキーラ”です。



(竜舌蘭 5/15日)

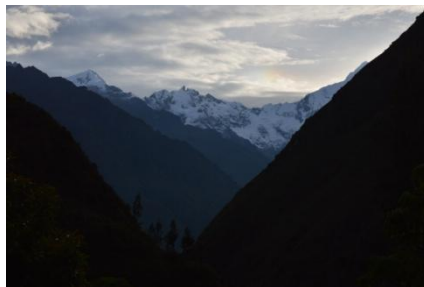


○パカイマユ(入山2日目)

今日は難関ワルミワニユスカ峠(4200m)越え。幕営地(3000m)から1200m登り、峠から700m一気に下る中々ハードな1日。富士山に当て嵌めれば7合目のロッジを出発し3776mの頂上を越えさらに400m以上登って、そこから一気に9合目まで下山し宿泊、と言ったところでしょうか。いずれにしても高山病にかからない様に歩行速度に気を遣い、細心の注意を払いながらの峠越でした。この日は峠越えのお祝いにコックが手作りケーキで祝福してくれました。ビックリしたのはケーキに日本語で“おつかれさまでした”と書かれていたことです(下の写真)。



(ワルミワニユスカ峠目指して 5/16 日)



○補足

マチュピチュ遺跡へ向かうインカ道はペルー文化省により「トレッカー・ポーター・ガイド全て合わせ 1 日 500 人」に厳しく入山規制されています。日本で余り知られていないこのインカ道、しかし世界的には物凄い人気です。今年は 1 月 7 日の受付開始後 5 月期を中心に申込みが殺到、私達の入山日 5 月 12 日分は 1 月 20 日に満席になりました。来年の受け付け開始日は未定ですが、5 月のトレッキングを考えると 1 月中旬迄に申し込む必要がありそうです。

☆2014 年天溪ツアーの残席状況 (5 月末現在)

8 月以降に出発するツアーの残席状況です。ご興味のある皆様はご一報下さい。

◎ツールドモンブラン 10 日間 (8/27 日発) 残席 2



◎チロルとドロミテハイキング 10 日間 (9/5 日発) 残席 4



◎紅葉カナディアンロッキー9 日間 (9/18 日発) 残席 6



◎エベレスト街道 タンボチェ11間 (11/5 日発) 残席 4



※ピレネー国境横断ハイキング 10 日間 (8/20 日発) 並びに エベレスト街道カラパタール 18 日間 (11/5 日発) は満席につきキャンセル待ちになっております。ご希望の皆様にはご迷惑をお掛けします。